

第437号 2010年7月1日

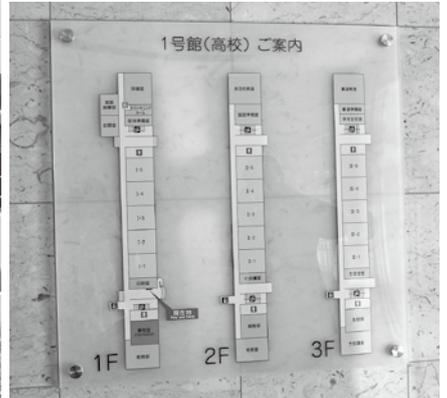
編集・発行

アカシア会

連絡先 アカシア会事務局

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1  
 広大附属アカシア会館  
 TEL & FAX 082-253-5581

次回は 通算 520回 例会



耐震改修工事の終了した母校1号館  
 左：中庭から見たエントランス  
 右上：エントランスホール 右下：1号館案内板  
 関連記事は6頁

### 平成22年度 アカシア会総会

日時：平成22年7月17日(土) 午後6時30分  
 場所：アンデルセン(本通) 6階  
 平成21年度事業・決算報告、監査報告  
 平成22年度事業計画・予算案 他

#### 月例会 今後の予定

- 8月例会：8月17日(火) 午後6時30分**  
 場所：アンデルセン(本通)  
 講師：広島大学附属高等学校副校長 原田良三氏  
 新卒100回生の皆様無料ご招待。詳細は同封プリントで。
- 9月例会：9月17日(金) 午後6時30分**  
 場所：アンデルセン(本通)  
 講師：広島大学病院消化器外科講師 檜井孝夫氏(72回)
- 10月例会：10月16日(土) 午前11時**  
 場所：賀茂鶴酒造 本社(東広島市西条本町)  
 講師：賀茂鶴酒造(株)取締役副社長 小林信也氏  
 開催日時・場所が通常と異なります。ご注意ください。
- 11月例会：11月17日(水) 午後6時30分**  
 場所：アンデルセン(本通)  
 講師：参議院議員 溝手頭正氏(51回)
- 12月例会：12月17日(金) 午後6時30分**  
 場所：モーリーマロンス(広島帝劇会館)「忘年会」  
 懇親会費は4,000円(79回以降の卒業生2,000円)  
 アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越しください。

講師と演題は予定です。

2011年版

## アカシア会会員名簿 予約受付中!

2010年10月  
 発行予定  
 定価3,600円

(なくなり次第予約受付終了)

「業種別索引」を試験的に、「思い出の写真」も掲載しています。  
 同封の振込用紙で8月末日までに申し込んでください。住所変更などのある場合は、7月末日までに。

☎ 01300-4-13111 「アカシア会」

### 原爆死没者および戦没者 慰霊追悼の集い

日時：8月6日(金) 午前9時から 場所：広大附属高校内の慰霊碑前



ご遺族のほか現役の附属生徒、卒業生などが参列して慰霊式典を開催します。

慰霊式の終了後、10時から講堂で、当時、附中4年生だった平尾博司氏(38回)から、動員先の被服廠で作業中に被爆・負傷した体験を語っていただきます。多数ご参加ください。

また、10時からは広島大学の東千田キャンパスで、広島大学の原爆死没者追悼式も行われます。

### Contents

- 総会・月例会案内、追悼の集い告知… 1
- 総会議事資料、地域代表者懇談会報告、  
 常任幹事会報告 …… 2
- 特別委員会答申 …… 3
- アカシア探検隊 湯崎英彦氏(75回) …… 4・5
- みんな見に来て。母校校舎 …… 6
- 友誼の御園 …… 7
- 各地域アカシア会だより 東京アカシア会 …… 8
- 近畿アカシア会、東海アカシア会… 9  
 同期会だより …… 10~12
- アカシア夜話⑥ 川妻二郎氏(36回) …… 13
- アカシアライブラリー、訃報、  
 いろいろ情報 …… 14
- 出てもうろうてもええかいのお⑩、  
 ビバ! アカシアカップル⑥、事務局だより …… 15
- 6月例会レポート …… 16

# 総会議事資料

## 平成21年度 アカシア会 収支計算書

自：平成21年4月1日～至：平成22年3月31日

会長 石井泰行 幹事長 大方幸三 会計幹事 畑 秀樹 熊野留美子

### ■当年度会計の部

収入の部		支出の部	
会員維持会費	50,000	会報発行費	2,861,993
会員年会費	16,000	名簿発行費	3,689,830
準会員入会金	0	通信費	115,801
新卒者維持会費	1,870,000	電話料	60,205
新卒者入会金	935,000	旅費交通費	299,320
名簿販売収入	1,865,300	会議費	438,614
広告料収入	4,110,000	人件費	1,724,495
預金利息	874	事務用品費	164,413
アカシア基金運用益	143,917	母校宛寄付金	70,000
寄付金収入	634,600	手数料	28,945
基金売却益	0	雑費	11,158
雑収入	39,229	器具備品費	171,200
豊葦会事務費	120,000	追悼の集い諸経費	62,271
		維持費	63,000
		その他の支出	72,083
		支出の部合計	9,833,328
収入の部合計	9,784,920	当年度剰余金	▲48,408
		合計	9,784,920

### ■剰余金の部

(単位：円)

前年度繰越額	1,134,322
当年度剰余金	▲48,408
差引翌年度繰越額	1,085,914

### ■アカシア基金の部

(単位：円)

前年度繰越額	29,700,000
当年度受入額	0
差引翌年度繰越額	29,700,000

### 監査報告書

上記収支計算書および財産目録につき監査の結果、適正に経理されていることを認めます。  
平成22年5月11日 監事 高橋正光 監事 寒川起佳

### ■総会で審議予定の議案

#### ◆平成21年度の事業・決算報告

##### (1) 事業報告

- ・アカシア会報と名簿の発行  
会報 平成21年 7月 12,000部  
平成22年 1月 12,000部  
名簿 平成21年10月 1,100部
- ・各地域アカシア会との連携強化

##### (2) 決算報告

##### (3) 監査報告

#### ◆平成22年度事業計画・予算案

##### (1) 事業計画

- ・アカシア会報と名簿の発行  
会報 平成22年 7月 12,000部  
平成23年 1月 12,000部  
名簿 平成22年10月 1,000部
- ・各地域アカシア会との連携強化

##### (2) 予算案(略)

#### ◆特別委員会答申による会則改正について

#### ◆その他

## 第3回全国アカシア会 地域代表者懇談会開催

平成22年4月17日(土)15時から17時 ANAクラウンプラザホテル広島にて第3回全国アカシア会地域代表者懇談会が開催された。役員と地域代表者合わせて17名が出席し、特別委員会答申案について協議をし、原案に若干の修正を加え、常任幹事会で審議することで合意した。地域アカシア会の近況報告をし、各々の連携を密にすることで意見が一致、終了した。



## 常任幹事会報告

平成22年6月17日(木)16時から広島アンデルセンにて常任幹事会が開催された。甲斐稔事務局長(63回)より、常任幹事総数44名中、出席者24名、委任状15通で、会則第28条に従い会の成立が宣言された後、向井恒雄副会長(50回)の挨拶があり、以下について報告、審議した。

### 報告事項

1. 役員改選について(変更無し)
2. 名簿広告申込について(さらに依頼努力する)
3. 特別委員会(組織検討部会・財政検討部会)答申案について
4. 原爆慰霊祭について
5. 事務局員の交代について

### 審議事項

1. 平成21年度事業報告、決算書(案)承認
2. 平成22年度事業計画、予算書(案)承認
3. 特別委員会答申案に伴う会則の改定案に対し、審議を行った。原案に若干の修正を加え、本年7月の総会での承認を目指すこととなった。



掘りだそう、自然の力。

# Calbee

## はじめカリッと、あとサクサク。

# じゃがりこ

カルビーホームページアドレス <http://www.calbee.co.jp/>

サラダ



チーズ



## 特別委員会答申

アカシア会の組織・財政問題に関して、平成20年6月に石井泰行会長から諮問された3つの事項、①(全国)アカシア会と地域アカシア会等の位置づけの明確化、②アカシア会として真に必要な事業の明確化、③アカシア会の財政のあり方、について、同年8月に特別委員会内に設置された組織検討部会・財政検討部会で約2年間にわたって検討を行ってきました。

昨年7月に、会報全国版で「特別委員会中間報告」として答申案の概要を改定理由とともに会員の皆様にご報告致しました。合わせて、21年4月と22年4月の2回、各地域アカシア会の会長・事務局長が広島に集まり地域代表者懇談会を開催するなど各地域との意見交換を重ね、意見集約したものです。本年6月17日の常任幹事会で承認された「答申」の概要をご報告致します。

平成22年6月17日

特別委員会 委員長 大方 幸三  
副委員長 向井 恒雄

### 諮問1 (全国)アカシア会と地域アカシア会等の位置づけの明確化

【提言】広島アカシア会は、永年にわたって「会報の発行」、「月例アカシア懇談会」など誇るべき独自の事業を展開してきていること、また、アカシア会との会計処理を明確にしておくためにも、従来通り地域アカシア会の一つとして残すこととする。

地域アカシア会を、アカシア会の活動とは独立して、各地域で懇親会・懇談会などの活動を行う分離型

#### アカシア会

東北 東京 東海 近畿 岡山 広島 九州

と、広島アカシア会をアカシア会と一体化して運営する融合型

#### アカシア会

東北 東京 東海 近畿 岡山 九州 広島

の両案について長所・短所を検討し、各地域から出された意見等も勘案して検討した結果、上記の答申となった。なお、関連して、現在の会則では、「第4条(支部)本会は必要な地域・職域等に支部を置くことができる」と定められているが、実態に合うよう下記のとおり改定することを提案する。

第4条(地域・職域等アカシア会)本会は必要な地域・職域等に地域・職域等アカシア会を置くことができる。

### 諮問2 アカシア会として真に必要な事業の明確化

【提言】アカシア会の諸事業の中で、「会報の発行」、「名簿の発行」及び「各地域アカシア会との連携・交流」は、全ての活動の基盤となるもので、同窓会を同窓会として維持していくために必須の活動であり、予算を優先的に配分して確実に実施されるべき「真に必要な事業」である。これらの3つの事業を行うに十分な会費収入を確保し、アカシア会が安定的にかつ持続的に運営できる体制を築くことを要望する。

### 諮問3 アカシア会の財政のあり方

#### a) アカシア会の財政健全化について

【提言】90回以降の卒業生は、会則により「生涯で25,000円を支払うこと」を義務付けられている。負担の公平性から、会則の変更を行い、89回以前の卒業生からも10,000円程度を運営維持のための「会費」(運営会費)として徴収し、世代間のバランスをはかることを要望する。

平成4年と平成12年に、卒業時に納める入会金・会費の値上げが行われているが、平成3年(81回)以前の卒業生には「卒業時に入会金1,000円、会費5,000円を納めれば以後の維持会費の納入は免除される」という会則が今もなお有効である。会員1人当たりにかかる年間経費は約500円であるから、この6,000円は入会后約12年で使い果たされており、会費の追加的徴収をしな

い限り、赤字は構造的なものとなる。

本提言を具体化するためには、卒業後一定期間(30年)が経過している会員からも追加的に会費(運営会費)を集めることが可能となるような会則への改定が必要である。

#### b) アカシア基金について

【提言】現在のアカシア基金を、その繰り入れ元によって、アカシア会の一般会計の下に置く「運営積立金」と、周年事業特別会計から繰り入れる「特別事業準備金」に分割し、それぞれの目的に合った活動・事業に、円滑に活用できるようにすることを要望する。

#### ==組織検討部会委員名簿==

相談役	中田 研一(48)
相談役	川瀬 博之(49)
部会長	吉中 康磨(50)
副部会長	小川 玲子(50)
副部会長	鼻岡 甫訓(51)
委員	中西 忠彦(53)
委員	本田 和哉(62)
委員	甲斐 稔(63)
委員	三原 千恵(66)
委員	追井 正深(71)
委員	先本 賢司(71)
委員	鈴木 隆子(74)
委員	花岡 奉憲(75)
オブザーバー	井藤 壯太郎(50)

#### ==財政検討部会委員名簿==

部会長	井藤 壯太郎(50)
副部会長	川瀬 博之(49)
副部会長	前川 功一(52)
委員	樋渡 美和子(55)
委員	天島 純子(57)
委員	甲斐 稔(63)
委員	中本 泰弘(65)
委員	畑 秀樹(70)
委員	松浦 勇人(76)
オブザーバー	吉中 康磨(50)

【追記】本答申中の提言を実現するためには、関連する会則の改定が必要になる。平成23年4月の施行を目指して、専門家も交えて会則改定の検討をしていくこととしている。

## 医療法人 光臨会 荒木脳神経外科病院

脳神経外科、神経内科、循環器内科、消化器内科、リハビリテーション科

広島市西区庚午北2丁目8番7号 TEL.082(272)1114

理事長	荒木 攻
院長	沖 修一
副院長	鱒川 哲二
副院長	長尾 光史(76回卒)
事務部長	松下 督克(75回卒)
理学療法士	中村 彩子(93回卒)

# アカシア探険隊

～MI・2010(夏)  
広島県知事室潜入の巻～



75回 湯崎 英彦氏  
～広島県知事～

今回は平成21年11月29日、公選知事としては第7代の広島県知事に就任した湯崎英彦さん(75回)の登場です。

湯崎さんは2回目の登場。前回は情報通信会社(アッカ・ネットワークス、現イー・アクセス)を起業された頃でした。

当時は新進気鋭の起業家、経営者としてのお話を聞かせて頂きましたが、今回は政治家、広島県行政の長として様々なお話をしてくださりました。勿論アカシアへの想いや、現役生徒諸君へのメッセージもお預かりしました。



谷口：本日は大変にお忙しいところ、お時間を頂き有難うございます。

湯崎：いえいえ、とんでもありません。アカシアのインタビューですので楽しみにしていました。ちょうど今日は母校の開校記念日で、学校で講演をしてきたところです。なのでアカシア・デーですね。

谷：そう言って頂くと、こちらもお気が楽になります。ありがとうございます。

湯：その言葉遣いはやめてくださいよ(笑)。いつも通りに話しましょうよ。

谷：またまた助かります。話し難い事を聞くかもしれませんが、よろしくお願いします。

湯：谷口さんのツッコミ次第ですが、こちらこそよろしく申し上げます。

谷：現在、知事に就任して半年弱が過ぎました。率直な感想を聞かせてください。

湯：そうですね。想像したり、期待していた事と大きくかけ離れている点は無いですね。むしろ県の職員の皆さんの改革への意欲には頼もしさを感じています。もっと変化に対するガードが堅いかと思っていましたが、私が唱えている「成果主義」、「現場主義」、「県民起点」といった言葉を素直に受け入れてくれています。

谷：前知事時代、色々と報道されてきた広島市との関係はどうですか？

湯：秋葉市長も県との関係を前向きに捉えて頂いているようで、建設的な話が出来ると感じています。これは私が就任前に抱いていた期待以上の手ごたえです。

谷：その他日々の業務のなかで気付いた事、驚いた事などはありますか？

湯：そうですね、例えばこの知事室に飾られている絵ですが、石井泰行アカシア会会長(43回)の義理のお父様(児玉希望画伯)の作品なんです。先日、石井会長が写真を撮りにこられました。業務上では、職員が説明や相談をしに来ることを「協議」って言うのには当初慣



左上が児玉希望画伯の絵



## P r o f i l e

昭和40年10月4日広島市佐伯区生まれ  
60年3月広島大学附属高等学校卒業、平成2年3月東京大学法学部卒業、同年4月通商産業省(現経済産業省)入省 機械情報産業局総務課、自動車課、7年6月スタンフォード大学経営学修士、資源エネルギー庁 原子力産業課課長補佐、9年5月通商政策局 米州課課長補佐、10年8月米国ベンチャーキャピタル イグナイト・グループ出向、12年3月通商産業省退官、株式会社アッカ・ネットワークス設立 代表取締役CEO、日本のインターネット基盤の確立に貢献、同年12月代表取締役副社長、20年3月同社退任、Office Yエグゼクティブ・パートナー設立、経営コンサルティング/アドバイザーで活躍、21年11月広島県知事当選、就任

れなかったですね。それから、庁内スケジュールに新年の挨拶はあっても新年度の挨拶が無いのは驚きましたね。ですから今年から始めました。

谷：次に対外的な事をお聞きします。広島県の大きな課題の象徴的なものに鞆の浦の架橋問題があります。これは全国的にも、世界的にも注目されていますよね。

湯：よく誤解されているんですが、私は「橋を架けるか、架けないか」というスタンスでこの問題に臨んではいません。元来、地域を良くする為にどうするかという事から始まった話が、架橋の是非という一点のみの問題になっていることが問題なんです。「地域を良くするために何が最善か？」は地域の方々が判断するのがベストです。行政はそれに対して出来るだけの

# 広島県知事活躍中 [湯崎 英彦氏(75回)]



県知事の益々のご活躍と“ふるさと”広島の実現、並びにアカシアの皆様の益々のご健勝を祈念申し上げます。

アカシア会 常任幹事会有志一同

お手伝いをさせて頂くのが本来の役割です。

谷：とは言いつつ、知事としてこうしたら良いというものがあるのでは？

湯：いえ、それをやってしまうと事を誤ってしまいます。地域の皆さんも、県の職員も、そして私も、もう一度「地域を良くする」という原点に帰って考えてみよう、ただそれだけなんです。

谷：いきなり難しくて微妙な問題から触れてしまって申し訳ありません。知事はその他にも多くの課題を解決しなければなりません。が、そもそも何故、知事になろうと思ったのですか？

湯：まずこれからの日本を考えた時、地方が活性化しないとどんどん沈んでいくという図柄が浮かんできます。次に我が郷土広島を眺めてみると、どうも元気がない、活力を感じられない。自然や歴史を見てもとても恵まれており潜在能力は計り知れないものがあるのに、です。広島に活力を取り戻すには、様々な面からのアプローチが必要です。経済は勿論、教育、福祉その他、多くの改革すべき課題があります。それを実現していくには知事しかないと感じたからです。

谷：そう思っても、実行に移す人はなかなかいません。なぜ湯崎さんにはそれが出来たと思いますか？

湯：元来向こう見ずなところがあるのかもしれませんが(笑)、やはり中学、高校時代の体験・経験が大きく影響していると思います。附属ってあれはダメ、これもダメ、っていう学校じゃないですよ。「やりたい事があったら、とりあえずやってみろ」って雰囲気ですから。但し、行動や結果には自分で責任を取る、っていうのが付いてきますが。でも「やらないと意味が無い」、「行動しないと結果は出

ない」って事を大いに学びましたね。

谷：具体的にはどんな体験や経験ですか？

湯：たくさんありすぎて困りますが、例えば中一の時の話ですが、バンドを結成したいと思っていました。ただ、入学したばかりでどうやって仲間を集めたらよいかわからない。その時思い切ってメンバー募集の貼り紙をしたんです。そしたらすぐに男女合わせて5、6人のメンバーが集まりました。「行動したら、結果が出るもんだ」と強烈な印象が残りましたね。それから、高校に入学してすぐにアメリカに一年間留学したんですが、本当に留学して良かったと思いました。留学そのものも勿論ですが、74回と75回の両方に友人がたくさんできましたから。

谷：選挙の時も、74回、75回の方が本当にたくさん手伝っていましたね。あの時、体育祭や文化祭のノリを感じたのですか？

湯：あ〜、谷口さんもそう思いましたか。実は私も同じように感じました。体育祭や文化祭って、学校側の定めた大枠はあるけど、自分たちで企画して自分たちで動いて、っていうのが伝統ですよ。あの経験は今回の選挙に限らず、様々な場面で活かされています。在校している間はそれが当たり前だと感じていましたが、卒業してみると本当にいい学校にいたんだなあと思います。

谷：附属の話になってきたところで、現役生徒諸君へのメッセージをお願いします

湯：附属っていう学校は何でも奨励してくれる学校です。今は時代が違うのでわかりませんが、我々の頃はマナーやモラルさえ守っていれば、少々の事は黙認してくれていました。(悪い事でも黙認してくれた?)ですから勉強でも、クラブ活動その他でも、やりたい事があったらどんどん挑戦して欲しいです。それが許される学校ですから。「行動すれば、結果が出る」しかし「行動しない限り、何も生まれない」のです。

谷：続いてアカシアのメンバーへのメッセージをお願い致します。

湯：この度の立候補、選挙に関しまして本当にお世話になりました。多

くの方々が本当に一生懸命にボランティアでお手伝いしてくださいましたし、色々な場面で私を支えてくださいました。本来なら、お一人お一人にお会いして御礼を申し上げなければならぬのですが、それもままならず申し訳ない気持ちで一杯です。

谷：知事としての仕事を立派にしているのだから、それが一番の御礼になっていますよ。

湯：そう言って頂けると救われます。今後ともいろいろとお世話になると思いますが、よろしく願い申し上げます。

谷：最後に、知事としてのこれからの夢を聞かせてもらえますか？

湯：立候補した当初から変わっていないのですが、一番の夢は広島県に住んでいる方々に「広島に住んでいて良かったなあ」と様々な生活シーンで感じて頂けるようになることです。お一人お一人価値観が違うので、何を以ってそう感じて頂けるかは簡単に定義できませんが、様々な分野で「良くなってきている」と感じてもらえるようにしていきたいです。

Today is better than yesterday, and tomorrow will be better than today.

を目指しています。

谷：本日は貴重なお時間を頂き、本当にありがとうございました。これからのご活躍をお祈りいたします。



公務多忙な中、疲れを感じさせない爽やかで透明感のあるインタビューをすることが出来ました。

課題山積の広島県政に淡々と、しかし闘志を内に秘めて「挑戦、そして実現」している姿に感銘を受けました。

中本 泰弘(65回)

谷口 公啓(73回)



左から 中本泰弘(65回)、湯崎英彦氏(75回)、谷口公啓(73回)

# みんな見に来て。母校校舎!!

新谷枝里子(93回)

3年かけて進めた校舎の耐震改修工事が一旦終了。生まれ変わった様子を見学してきました。

学校を訪問するのは数年ぶり。会報編集委員長の中本さんと駐車場で待ち合わせ、校長室に向かいます。靴を脱いで上がり、ふかふかのソファに通され、ジーンズで来たことを反省。その分真面目に取材しようと心に誓いました。



副校長の原田先生と隠善先生に出迎えて頂きました。現在の校舎が完成したのは昭和45年。改修工事は平成19年度から1年ずつ、2号館、小学校、1号館の順で進められました。校庭の一部に2階建てのプレハブを作って機能を移動しながらの大型事業。しかし、途中で政権交代のためにブレーキがかかり、平成22年度に予定されていた中学校の校舎である3号館はまだ着手できていません。

ぐるっと見学して回ると、ただきれいなだけでなく、多くの変化がみられます。

## ①校舎外観

格子状になっているのが耐震補強のパーツ。いかにも登りたくなりそうな見た目ですが、登れない構造になっているそうです。渡り廊下にドアがついたため、校舎内に木の葉が入ることもなくなりました。



## ②校舎内部

高校2年1組、新治先生の現国の授業風景を見せていただきました。天井を縦横無尽に走っていたスチームのパイプが無くなり、すっきりとした教室。広くなったようにも見えます。塗り直して壁が白くなり、雰囲気も明るくなりました。



トイレもまるでホテルのよう。ギーギー鳴る板のドアを押していたころとは隔世の感です。



1号館にはエレベーターもつき、入り口のスロープと合わせてバリアフリー化を進めています。在学生だけでなく、見学者や卒業生にとっても嬉しいつくりになりました。



## ③校庭

テニスコート5面が人工芝に砂をまぶした、サンドオムニという素材になりました。「雨が降ったら1週間使えない」と言われていたコート。今はすぐに水がはけます。テニス班の人気も上がりそうです。



校舎の成り立ちをよく知る大辻明先生(58回)に話を聞きました。60歳を迎えられた今も迫力はお変わりなく、焼けた肌竹刀がよく似合います。

一校舎が最初でできた当時の様子を教えてください

昭和40年に最初でできたのが1号館。それまでは木造で、トイレは別棟で外にあった。1階につき5教室がある3階建てで、そこから東西に建て増して今のように形になったんじゃない。気付いたら人もおるじゃろうが、床のタイルに色が変わるつなぎ目が残ったよ。

—最近の状態はどうでしたか

建て付けが悪かったんか風でガラスが割れたこともあったよ。ちょっとひびが入るとるのがわかったけー、印を付けとったんじゃない。そしたら毎日ちょっとずつ伸びて、ついには割れた。まあ、全体的にだいたいぶくたびれとったよ。

—どんな点が良くなりましたか

戸締まりがきちんとしてできるようになって、防犯の面で格段に向上した。きれいに保たんといけんという生徒の意識も高くなったんじゃないか。掃除にも力が入るじゃろう。

歴史の積み重ねで味わい深かった校舎ですが、改修によって快適な空間になり、勉強にも部活にもより身が入りそうです。といっても全てを改装したわけではなく、しっかり昔の趣きも残っていますので、一度見学してみたいかがでしょうか。



## 合唱班 第4回 定期演奏会

日時：2010年8月7日(土)

開場：13:30 開演：14:00

場所：広島大学附属中・高等学校講堂

曲目：ルネサンス時代の合唱曲「アイ・ラブ」他(生徒ステージ)

フォーレ「レクイエム」より1,5,6,7曲(OBステージ)

「心の四季」(生徒・OB合同ステージ)



## 管弦楽班 第34回 定期演奏会

日時：2010年8月7日(土) 開場：16:30 開演：17:00

場所：フェニックスホール(平和公園内)

予定演目：

J.シベリウス：交響詩「フィンランディア」

久石 譲：「ハウルの動く城」より

パデルト「パイレーツ・オブ・カリビアン」より

チャイコフスキー：交響曲第4番へ短調 全曲 他



♪ 皆様、是非お越し下さい! ♪ <入場無料>

## 友誼の御園 ～母校だより～



### 附属への想い — 副校長就任にあたって —

中学校副校長 隠善 富士夫

この4月から附属中学校の副校長を務めることになりました。附属に着任して24年が過ぎましたが、その間、クラス担任や、部活の指導、校務分掌などを通して、多くの生徒や先生方と関わり、附属に受け継がれる伝統の重みを感じてきました。

中学校技術の授業では、生徒一人ひとりの発想の豊かさに驚きながら、それを生かすことができる指導方法や題材の開発に取り組む責任の大きさを実感しました。また、部活動では20年にわたって中高管弦楽班の顧問を務め、日々の練習や演奏会を企画運営するためには、生徒による主体的な班運営の体制を作ることが不可欠である事を痛感しました。

附属の生徒は、自由な発想と豊かな創造性を備え、将来への希望を持ちながら積極的に行動する姿勢を持っています。社会や学校を取り巻く環境は変化し続けていくものですが、生徒の可能性を無限に引き出すことができる教育環境と、生徒がそれを受け入れて、学習や学校行事に主体的に取り組む姿勢は、今も変わることはありません。

国内外でご活躍のアカシアの方々の、母校に対する熱い想いを感じながら、その伝統を引き継ぎ、附属の発展のために微力を尽くしたいと思っております。今後とも附属へのご支援をよろしくお願いいたします。

## ☆☆ 放送班の復活 ☆☆

ひさしく休部のまま歳月を重ねてきた高校放送班が復活し、活動を再開して数年が経つ。復活のきっかけは、元本校国語科教員の末広鈴江先生と数人の生徒たちとの出会いである。末広先生は広島県の公立高校で精力的に放送部の指導に携わって来られた方で、広島県との交流人事で3年間、本校に在籍された。その際、放送に関心のあった生徒たちがそれを聞きつけて教を乞い、発声の仕方、読みの方、番組の構成や編集の仕方、原稿や台本を書くための取材の仕方などの技能・技術を教わったのである。



才能が発掘された、といっても過言ではない。生徒たちはたちまち放送コンテストの県大会で活躍し始め、一昨年からは全国大会へも連続出場をしている。2008年には森田将人君(99回)が朗読部門で2つの全国大会に出場し、そのうちNHK杯全国高校放送コンテストでは全国トップ10入りである決勝進出を果たした。また2009年には同コンテストでテレビ番組がトップ40入りの成績を取めた。こうした活動が認められ、班の正式な復活となった。

今年も鈴木晴也君(高校3年)の全国総合文化祭(アナウンス部門)への参加が決まっている。

施設的には恵まれない環境での活動ではあるが、確かな技術を代々引き継ぎ、一層の活躍が期待される。

### H22年度 広島県高校総体 陸上女子800M優勝

記録：2分21秒23



兒玉望さん(高校2年)が5月30日に行われた県総体において、女子800Mを制し、附属初の優勝者となり、中国新聞にも大きく取り上げられた。夢はインターハイ出場と語った。

### コアSSHにも採択



平成15年に文科省よりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受け、19年度には新たに指定期間5年のSSH指定校となっているが、これに加え今年度は「海外の理数系教育重点学校との連携」の領域で『コアSSH事業』にも採択された。

昨年度のドイツとのESDプログラムの交流・実践を生かし、さらにこのコアSSH事業では韓国の先進的な理数教育実践高校と連携し、日韓共同の授業モデルの開発を進めている。また、開発した授業モデルを広島の他校へ普及する取り組みなどを計画している。

ESD:「Education for Sustainable Development(持続発展教育)」の通称。持続可能な開発を実現するために発想し、行動できる人材を育成する教育。

# 地域アカシア会だより

## 各地域アカシア会のご案内

地域	会長	事務局	行事予定
東京 アカシア会	的川 泰宣 (50回)	〒105-0013 東京都港区浜松町1-21-5-5F (株)業務プロセス研究所 尾籠裕之(56回) TEL03-6809-2237 Eメール ogomori@bplab.co.jp	総会と懇親会 5月と11月 次回は11月22日(月)
近畿 アカシア会	堀内 重明 (50回)	〒669-1506 三田市志手原920-47 岡 國太郎(57回) TEL079-564-2414 Eメール pff00360@nifty.com	総会 6月頃と12月
東海 アカシア会	齋藤 翁 (48回)	〒444-0873 岡崎市竜美台1-16-5 沖 信一(55回) TEL0564-52-6988 Eメール shinichi.oki@mc.or.co.jp	総会と懇親会 2月と9月頃
岡山 アカシア会	大本 榮一 (27回)	〒700-8550 岡山市北区内山下1-1-13 (株)大本組内 TEL086-225-5131 大本榮一(27回) Eメール fc-yokote5555@ezweb.ne.jp 横手靖吾(54回)	総会 11月頃
広島 アカシア会	向井 恒雄 (50回)	〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内 TEL082-253-5581	例会は毎月17日(原則として) 7月17日は全国アカシア会総会
九州 アカシア会	八木 聖二 (54回)	〒815-0033 福岡市南区大橋3-27-17-704 伊藤哲生(51回) TEL092-552-9300 Eメール 200845t-ito@icom.home.ne.jp	総会 10月頃
東北 アカシア会	野尻 久 (33回)	〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学学際科学 国際高等研究センター 八百隆文(53回) TEL022-795-4400 Eメール yao@cir.tohoku.ac.jp	未定

東京発

### 東京アカシア会 春季総会・懇親会

爽やかに晴れた5月22日(土)、平成22年度春季総会・懇親会が、東京都千代田区のスクワール麹町で開催されました。母校からは、前田健一校長、原田良三高等学校副校長、隠善富士夫中学校副校長、全国アカシア会から向井恒雄副会長(50回)、吉中康磨常任幹事(50回)、そして湯崎英彦広島県知事(75回)にご来賓としてお越しいただき、総勢155名の参加者が集いました。



的川泰宣会長

前田健一校長

総会の冒頭で、的川泰宣東京アカシア会会長(50回)から、「当会のパワーを附属の枠にとどまらず広く社会に発信していきたい」とのご挨拶があり、引き続き尾籠裕之事務局長(56回)より、昨年度の決算報告、また、今後の事業計画として、IT活用による会運営の効率化、各学年幹事を核とした連携強化など、今後の事業計画についてのお話がありました。

続いて、この半年間に亡くなられた11名の方のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。

ご来賓のご挨拶では、前田校長から母校の近況をお知らせいただきまし

た。向井氏からは先の県知事選において発揮されたアカシア会の強い結束力のお話のほか、広島の近況などのお話をいただきました。湯崎県知事からは、元気のある広島づくりへのビジョンへの意気込みをお聞かせいただきました。

その後は、新見博氏(46回)のご発声で乾杯をし、しばし歓談。会場は、会の盛り上げ役であるシニア幹事(63回)や活性化メンバーを中心に、現役学生から大先輩まで、世代を超えた交流で終始にぎやかに時が過ぎました。今年の新入学生(99回、100回)には壇上にあがっていただき、諸先輩から温かい歓迎の拍手を受けました。そして、もっとも多い21名の参加があった100回生に、東京アカシア会から「よく集まったで賞(10,000円)」を呈しました。恒例となった抽選会では、賀茂鶴酒造様、カルビー様、広島東洋カープ様、博報堂プロダクツ様、そして最年長・増田正和氏(31回)、恵藤美奈子氏(79回)より景品を提供いただきました。特に広島東洋カープ様提供の栗原健太選手、天谷宗一郎選手のサイン入りTシャツと小窪哲也選手のサイン入りリストバンドの抽選では、大いに盛り上がりました。

非常に盛況であった懇親会も、お開きの時間となり、恒例の参加者全員が大きな輪になって肩を組み、コールア



カシアの方々を中心に、学生歌・校歌を斉唱しました。そして最後は、こちらも恒例となった槇本良二氏(69回)の音頭で「フレ・フレ・ア・カ・シ・ア」のエンルを会場に響かせ、大盛況のまま閉会となりました。

その後、79回生が自主企画した2次会にも大勢の方が参加され、旧交そして年次を超えた交流を深めることができたと思います。

東京アカシア会活性化委員会では、秋季懇親会のさらなる充実と幅広い世代の参加促進・交流の活性化に向けて議論・準備を開始しています。今後の東京アカシア会に是非ご注目ください。

5月27日記：坪井勇蔵(79回)  
撮影：松下英樹(99回)



近畿発

## 近畿アカシア会 前期総会



6月6日平成22年度の前期総会が今年度は会場をホテルグランピア大阪に移して開催された。今回は母校からのご来賓は他行事と重なったこともあり出席頂けなかったが、アカシア会からは常任幹事の井藤壯太郎氏(50回)が、また大谷正氏(37回)も広島からお越し頂いた。総会は皇暢子氏(46回)の司会で始まり、堀内重明会長(50回)の開会挨拶、井藤氏の来賓挨拶に引き続き議事が行われ、前年度決算の説明並びに見門忠雄監事(46回)からの会計監査報告が行われ、今年度予算と共に承認された。その後役員改選も審議され後記のとおり役員が選任された。

### 過半数は学生出席者、華やいだ会食

第二部の会食は、今回の最長老出席者である河原邑安氏(34回)の乾杯

のご発声で始まった。出席者総勢60名のうち学生が34名(うち新入会員18名)を占め、会場は若々しい雰囲気満ちた。今回はテーブル毎に料理が運ばれるスタイルだったの

で、ゆっくりと歓談のひとときを持つことができた。歓談の合間に何名かの方にスピーチをお願いした。広島から参加の大谷さんは近畿アカシア会開設当時のお話しに加え、永年にわたり毎回ご実家の銘酒「大号令」を差し入れてくれている上野徳恵さん(45回)のご厚志を賞された。埴本勝司さん(50回)からは脳外科医として今でも年間600例も



の手術をされているとの話しと、「カオス」と称する当時のクラス紙の紹介があった。大阪府議で活躍中の徳丸義也さ

ん(64回)からは大阪都構想の説明のあと特に学生諸君に「競争や葛藤を避けるな」とのメッセージが送られた。学生もテーブルごと代表でスピーチをしてくれ、最後はアカシアソングを斉唱して閉会となった。

次回は12月5日(日)開催!

後期総会は12月5日(日)に開催予定です。次回は昨年同様に学生諸君が楽しい会合を目指して企画してくれます。今から予定欄に記入願います。

### 選任された役員

会長 堀内重明(50回)、副会長 皇暢子(46回)、清水邦夫(51回)、幹事長 岡國太郎(57回)、幹事 森 静子(57回)、豊島秀郎(62回)、徳丸義也(64回)、監査役 見門忠雄(46回)相談役 米澤啓明(43回)

### 役員以外の出席者

(34)河原邑安、(37)大谷 正、(38)香川 昇、川本和良、(43)熊本直文、黒田昭夫、武内里子、藤井侃二、水村雅子、(44)山本瑤子、(45)上野徳恵、(50)井藤壯太郎、埴本勝司、(57)佐々木由紀子、西村律子、西山由里子、(60)大谷文彦、(64)田頭史明、(95)山本ゆりえ、(96)上田大樹、光廣直史、(97)鶴殿淳之介、川村美貴、徳永祐也、藤川千紗、三島あい、(98)上本浩志、柏原志保、田村理沙、村中絵美、横山祥子、(99)伊藤茉莉子、高野香奈、松長由宇子、(100)居川真澄、池本 祥、石堂悠太、岩田祐輔、宇田紗央里、大倉麗史、久留飛竜之、多岐文伽、仲渡和政、高田美菜、武田めぐみ、田中理沙、寺本彩香、中川友実、中土井未奈、藤井優子、増田佳那、三宅加奈子

文責：岡 國太郎(57回)

東海発

## 東海アカシア会・豊葦会 総会



2月14日(日)、恒例の東海アカシア会・豊葦会の総会・懇親会を開催、今年も会場は『白亜館 葵』です。

90歳超でも今なお若々しい西田節子さん(豊葦26回)から95回の若手まで8人が参加、いつもながら歴史を感じます。人数はここ数年で最高。

総会を滞りなく終えた後、全国アカシア会吉中康磨常任幹事(50回)より、アカシア会各地域との連携、月例会の活性化、湯崎広島県知事誕生の経緯などをお話し頂きました。

引続き東海アカシア会齋藤翁会長(48回)からご挨拶の後、「直感と閃き」のプレゼンを。ベテランと若手の組合

せで、各々の持ち場を活かして今の世の中の激変に対応していくべきとのアドバイスでした。

そして、いつも写真をお願いしている中村博之監査役(43回、男女共学の第一期)による記念撮影。続いて吉本幹彦前会長(41回、原爆で焼失前の附中で授業した最後の学年)のご発声で乾杯し開宴、独創性溢れるフレンチに舌鼓を打ち、シャンパン・ワイン・ビールを飲みながら、参加者の皆さんから近況報告して頂きました。

白石千里さん(豊葦30回)は麻雀・俳句を楽しむ毎日であること、末富博さん(45回)からは東海の名勝「久能山東照宮」のご紹介、いつもお元気の東海豊葦会小田千恵子会長(48回)からは故曾田和之元会長(32回)に連れられて初めて参加した時の思い出を、佐藤哲郎事務局次長(78回)と夫妻で参加の弁護士佐藤典子さん(同)は法律事務所を開設したことなど、ファミリーなムードの中、次々とバラエティに富んだ話題

で大いに盛り上がりました。

今年は、橋本徹さん(64回)の呼掛けで、同期で東京から名古屋へ単身赴任中の高岡義文さんが初参加されましたが、橋本さんは近々ドイツへ赴任されるということで、4年後の再会を約束しました。また、伊藤(益本)康代さん(81回)も名古屋に移ってこられて初参加、常連から大いに歓迎されました。

一方、富吉賢一さん(72回)は3回出席した総会は和気あいあい楽しかったが近々東京に戻ることにしたこと、また板谷和昌さん(56回)も年内に故郷に移るかもしれないとのこと、寂しくなります。

今回も最後に作曲家梶幸一朗さん(81回)の指揮で校歌・学生歌を合唱し、夏のビアパーティでの再会を祈念して散会しました。

来年も2月に総会を開催しますので、東海地方在住の皆さんは是非ご参加ください。学生は無料です。

2月15日記 沖 信一(55回)

前出以外の出席者：(48)花岡正紀、林 滋、(55)坂本利彦、(65)成瀬まり子、(66)後藤ひとみ、(72)服部清美、(93)石田 充、森信秀一郎、山下寛泰、(95)中村陽一、村本孝博

# 同期会だより

## 31回同期会報告



上左から：加藤誠蔵夫人、加藤誠蔵、加藤義正、玉垣秀也、片原実、片原夫人、大松氏ご家族、積山浩夫 下左から：増田夫人、増田正和、奥窪央雄、大松齊、米田節次郎 (増田正和撮影)

全員87~88才という高齢、おまけに元気には見えるけれどほとんどが五体満足という状態のない中、次第に減少する出席者を抱え。今回が最後という会合を、いつものごとく府中町のキンピヤホールで4月8日午後会食、出席者13人中同伴者というより付き添いの4人を含み和やかに始まった。いつものように昔話に花を咲かせ、最後に校歌、応援歌を歌い感傷に浸るでもなく、最後の会を終わった。 玉垣秀也

## 戦前の専心寮会



2009年12月16日、東京在住の戦前の専心寮生が集まった。写真左から村尾重保(36回)、坂芳雄(33回)、増田正和(31回)、金田司(38回)、中原良雄(31回) 増田正和(31回)

## 40回 卒業60周年の同期会



我々が、東千田町アカシアの庭を卒業したのは、1950年の春で、今年は丁

度60年経過の記念の年である。

その年は、自民党誕生・朝鮮戦争勃発・等、波乱の年でしたが、本年も又政権交代等、波乱含みである。

思い新たに6月12日、16人の友がメルパルク広島に集まった。東京からの土井君の音頭で開宴、皆それぞれ「為になる話」等語り合い、楽しいひと時を過ごした。終りに恒例の校歌・応援歌を元気に唄い、会を締めた。

6月14日記 磯谷郁夫

## 最後の手記集、ただいま編集集中



私たち41期生は明年春、高校卒業から60周年という最後の節目を迎える。附属を出てからも還暦、実年齢も喜寿を越えて間もなく傘寿。赴報・病人続出となれば、集まれるのも語り合えるのも最後のチャンス。「遺言として我らの手記集、3巻目の完結編を出そう」となり、手記を募集して「わが昭和史・完結編」を編集集中だ。「私と戦争」「科学学級」「恩師の思い出」などの4部構成。明年5月15日、プリンスホテル広島で開催する同期会で発行する。

新井俊一郎(41回)

## アカシア42回 喜寿のたび



昭和8、9年生れのアカシア42回生は今年全員が喜寿を迎えた。

4月7・8日に山陰へ旅行。参加者15名は、これまでの健康に感謝し、

これからの息災を出雲大社で祈願し、玉造温泉で宴会をした。

翌日は足立美術館の庭に見とれ、全員が満足した2日間であった。次の傘寿での再会を約束して散会した。

青山 晃

## 44回生東京地区同期会



去る4月8日恒例の44回生東京地区同期会を、五反田ゆうほうとで開きました。広島からの3名はじめ、八ヶ岳山麓や藤枝など隔地からの参加もあって、35名で大変な盛会。加えて今回は井山氏の叙勲お祝いや、石飛氏の著書”平穩死のすすめ”出版の披露などもあって、話題も豊富なため、皆さん食べたり飲んだり二の次で、お喋りに盛り上がっているうちに時間切れとなりました。「次回も元気に集ろう」を合言葉に散会しました。そして物足りず席を変えてアフターのお茶をする者、名残りのお花見に千鳥が淵に練り出す者…楽しさの余韻が続きました。

脇本 崔

## 46回同期会



平成22年4月12日淡路夢舞台に隣接するウエスティンホテル淡路で開催した。参加者31名。このホテルはW杯02年日韓大会でイングランドがベースキャンプに利用したところだ。

翌日の遠足は鳴門の渦潮見学。大潮の満潮時に、船上より見る渦は大規模で迫力満点であった。その後、神戸市に戻り遅い昼食をとりながら次回の再会を約束して散会した。 伊藤 孝

## とも うちら 鞆の浦 世界遺産登録を目指して!!

万葉の唄に詠まれ、朝鮮通信使は「日東第一形勝」(日本一の名勝)と絶讃、日本で最も美しく歴史的にも重要な瀬戸内海中央の港町。古代から北前船の潮待ち港として栄えた鞆の浦。

国立公園第一指定となり、名勝「鞆公園」として国が昭和14年に貳拾銭記念切手を発売。

一度壊した自然は絶対に元の自然にならない。①厳冬の白川郷 ②春の熊野古道 ③6月の尾瀬沼 ④夏の知床半島等を散策したが、2年後には世界遺産登録になった様に、幼少時に過ごした思い出の鞆が必ずや登録なることを念じて、約7千名の署名を得られたことに感謝しています。 増田正和(31回)



昭和15年秋  
旧制のマント姿の鮮やかに  
眼裏残る人に逢ひたる。  
衣恵

アカシア48回生叙勲の祝賀会



平成22年4月29日春の叙勲者の発表が有り、48回生から3名の叙勲者が選ばれました。広島市の吉岡浩君(元広島地方裁判所所長)が旭日中綬章を、中村成朗君(元学校給食物資開発)が旭日双光章を、北海道の荒木道郎君(通産行政と研究功労)が瑞宝小綬章を授賞されました。同時に3名もの叙勲者が選ばれ大変名誉な事なのでせめて広島だけでも同じクラスの人が発起人と成り6月10日午後6時から中国電気工事本社ビル20階の西日本グリーンハウスにて祝賀会を開催致しました。東京から松島和夫君も出席され総勢42名の出席と成り卒業以来の人も居て話が盛り上がりあつと言う間に予定の2時間が過ぎてしまいました。再会を約して惜しみつつ散会と成りました。

記 中田研一 写真提供 古河靖正

56回同期会(2010年5月)



毎年持ち回りで開催している同期会を今年は福岡天神の西鉄グランドホテルで開催しました。29人が参加。全員のスピーチとテーブルを移動しての歓談であつという間に一次会はお開きに。つづいて中洲の二次会場へ。歩いての移動で気分も一新、カラオケの歌声と話し声が止まることはありませんでした。更に博多ラーメンを食し、オールディーズのライブハウスに足を伸ばした者も少なからずと還暦を過ぎたとは思えない皆さんでした。

6月2日記 角 俊彦

58回還暦達成記念同期会



58回生も、ついに還暦を達成しました。ということで、今年のお題は「還暦達成記念会」。今年では広島ということで、5月22日(土)18時「半兵衛六角苑」に参集したメンバーは42名、北は北海道から南は九州まで、毎年よく参加してもらえることに幹事として感謝、感謝です。窓から広々と整ったお庭の見える(残念ながらサツキとツツジの境目で花を見ることはできなかった)宴会場を用意してもらいいつもと変わらぬ宴会が進行していきました。ただ、今年の見玉はスライドショー、卒業アルバムからの抜き刷りや、数名の方から提供いただいた高校時代のスナップ写真が紹介されました。二次会はホテルグランヴィアのスカイラウンジで、ここにも30名以上の仲間が集いました。翌日のプログラムは縮景園と県立美術館。さて、来年は北海道という話がちらほら、皆さん準備をよろしく。もうひとつ、私事ですが8月17日の話はなくなりましたのでお知らせします。 5月31日記 大辻 明

アカシア65 神戸・大阪2日間の旅



65回生恒例の春の旅。5月29・30日に総勢26名で賑やかに開催した。

まずは三宮で神戸牛ステーキに舌鼓。有馬では、名湯で若返った後、プレ宴会・本宴会・二次会(深夜まで全員が参加)のフルコース。皆で30数年前に

タイムスリップし、青春気分を大満喫。翌日は、なんばグランド花月で大笑いし、締めは新大阪の居酒屋で解散会。とまさに夢のような充実の二日間。誰もが羨む仲よし65回生。来年春も盛上がるぞ!初参加の方も大歓迎。

5月31日記 藤岡一晃

71回生 親睦バーベキュー開催



71回生15家族約30人で、月例会幹事の打上げを兼ねて、家族同伴でバーベキュー会を開きました。持ち寄り料理、炭火焼きの肉と野菜に、必要以上のお酒で、話にも花が咲きました。話題は湯崎新知事の活躍、同期坪井(福田)さんの横浜赤レンガでの活躍、広島経済や交通・住宅事情、学校関連、子育て事情、などで盛り上がり、子ども世代とアカシア71回世代が共にバンドやギターの話ができるなど、次の世代も大人になりつつあるなあという印象でした。

5月9日記 平野直彦

75回新年会報告



平成22年1月2日、有田先生、南村先生、井ノ迫先生をお迎えして75回は恒例の新年同窓会を開催。今回は年末年始に活躍した湯崎英彦氏を激励しようと急遽5名の74回先輩にも御参加いただき、ご家族連れ総勢49名の参加となりました。あつという間の2時間が楽しく過ぎていきました。

4月9日記 花岡奉憲



福屋八丁堀本店

Faithful & Friendly  
皆様の百貨店、Fukuya。

Fukuya



福屋広島駅前店

## 77回同期会



去る1月2日(土)、松井政明先生、平岡賢治先生をお迎えし、オリエンタルホテル広島「NEW YORK CAFÉ」にて開催しました。集まった同級生は29名、お酒を酌み交わしながら一人ひとり近況報告を行いました。昔のぶっちゃけ話も飛び出し、楽しいひと時でした。二次会はいつもの場所…そこからの参加者もあり深夜まで盛り上がりました。次回広島で開催するのは6年後(上幹事の年)の予定?です。そのときにまた元気に再会できることを楽しみにしています。 佐々木順一

## 78回同期会



本年明けの1月2日(土)、広島市内のレストランにてアカシア78回生同

期会が開催されました。年始の慌しい中、60名を越える方々に出席して頂き、予想以上に盛大な会となりました。参加者の中には、卒業20余年来の再会もあり、和やかな雰囲気の中、お互いに旧交を深めることができました。二次会からは、今年定年退官を迎えられる大辻明先生にも参加して頂き、会場のスタッフから注意を受けてしまう程の盛り上がりとなりました。来年度、アカシア定例会の下幹事を務めさせて頂くにあたり、この度の同期会は結束力の強さを実感できるすばらしい会でした。 1月4日記 菅野啓司

## アカシア歯科医会22年度総会報告



3月6日(土)、18時よりホテルJALシティ広島において、アカシア歯科医会総会が開催された。山崎義之(45回)会長の挨拶に始まり竹田茂(70回)専務理事の司会にて会が進行し、会則の改正が検討され改正案が承認された。今回より歯学部学生も会員として参加した。引き続き、津賀一弘広島大学准

教授(69回)の口腔機能検査および評価の重要性についての講演があり、会員一同有意義な時間をすごした。その後、懇親会へとうつり、各会員が自己紹介を行いそれぞれに懇親を深めた。最後に校歌斉唱でお開きとなった。

竹田 茂(70回)

## 平成22年アカシア医会総会報告



5月15日、広島アンデルセンにて平成22年アカシア医会総会が開催されました。総会后、佐伯俊成先生(69回)にご講演いただきました。人間関係の基本は好意であり、信頼・好意を寄せている人の言うことは信用されることと「上手な聴き方五原則」・「影響力の7要素」を具体的に説明いただき、患者さんとのコミュニケーションスキルを教えてくださいました。懇親会では、石田定先生(34回)に乾杯の音頭をとっていただき、出席者全員が1分で自己紹介を行い、最後に東條環樹先生(81回)による万歳三唱で盛会にて終了しました。 吉貴弘佳(77回)

## 唐津 康夫(42回)

## アカシア42のこと

私たち42回生(昭和27年卒)は終戦の翌年昭和21年(1946年)に入学した。在学中いろいろ話題をまいたりしたが、振り返ると附中高史上でもかなりユニークな要素があるように思う。個人的な思い出としてそのいくつかをしたためておきたい。

① まず、学年としては旧制中学最後、したがって男子校としての最後の学年である。翌昭和22年2年生進級から新制中学となり、一級下からは男女共学となった。つまり5年制中学校に入学し、3年制中学校を卒業後、高等学校に入学し3年で高校を卒業となった。(小学校も尋常高等小学校としての最後の入学、「サイタ、サイタ、サクラガサイタ。」の教科書使用の最後で、2年生進級から国民学校となった。)

② 入学当時の附中は西条町(今の東広島市)に疎開していた。入学試験も入学後1年間の授業も借家の西条吉土美小学校の校舎を使って行われた。広島駅から西条駅まで当時は1時間ほどかけて汽車通学(瀬野から八本松までは機関車が2両連結であえぎながらのぼる)をした。満員の復員列車に窓から引っ張りあげてもらって乗り込んだり、炭水車によじ登っ

てひれ伏して通学したことなども、今となっては懐かしい思い出である。そして私たちの学年を象徴する「西条組」という言葉も生まれた。

③ 第3に、「科学学級」(一般クラスは西条では北組、南組。昭和22年広島に帰ってA組B組に対してC組と呼ばれた)という特別学級が3年生まで存在していた。戦争遂行目的のために各地の小学校からIQの高い成績優秀者を選抜して編成、昭和20年附小6年に設置された特殊学級で、今ならさしずめノーベル賞候補者養成学級となるであろう。高校になってから科学学級は解散、他のクラスメンバーと混合編成になった。因みに昭和26年に実施された「進学適性検査」では、学校の平均得点が全国第8位にランクされていた。

④ 第4に、学校史上唯一といわれるストライキをやった学年である。高校3年のとき、某先生が「今の3年生は最悪で、彼らが卒業すればこの学校もよくなる」と発言されたという話が伝わって、教育者にあるまじき発言ではないか、と学校の謝罪・発言撤回を求めて3日間大教室に立てこもったのである。どういう形で着落したかは憶えていないが、全員毎日

登校するものの、授業には一切出ず、入れ替わり立ち代り先生が説得にこられたが応じず、一室に集まって3日を過ごした記憶がある。こういうことが同期の団結心の強さをはぐくんだかもしれない。

⑤ そして卒業後は、故田辺昌美先生[英語]が進学相談が終わったあとの総括で「君たちは若いのだから1年2年浪人してもよいから自分の行きたいところへ行け、自分の初志を貫徹しろ」という檄を飛ばされたからか、割合多く広島にとどまられた先輩方と違って、多くの同期生が首都圏、関西、九州など各地の大学へ雄飛していった。

⑥ ついでに、私たち東京に出たものが東京アカシア会に入会しようとしたら、先輩から「アカシア会は旧制中学卒業者の会なので新制卒業者は入会資格なし」とにべもなく断られたので、烈火のごとく憤慨、アカシア会(と先輩)に対する反感を強くもつことになった。これが今なお東京在住の42回生のアカシア会に対する大きな心理的抵抗感となって残っている。

とは言え、アカシア会の周年行事やイベントへは応分の貢献をしてきたと自負している。

アカシア夜話 アカシアンナイト  
第6話



昭和40年代のアカシア会

1967(昭和42年)年4月17日第1回の月例アカシア懇談会が開催されました。アカシア会は1951年(昭和26年)に再建され、会則は1961年(昭和36年)に制定されました。しかし現在の組織や活動の原型が作られたのは、月例アカシア懇談会の定期開催が始まり、創立70周年の記念事業が行われた1975年(昭和50年)4月までの間です。今回は、昭和47年に帰広されると同時に、アカシア会の活動に尽力された川妻二郎(36回)さん(広島管財(株)会長)に、当時のお話をうかがいました。



川妻二郎氏(2009年10月17日撮影)

月例アカシア懇談会

1972年(昭和47年)に、それまで勤めていた帝人を辞めて広島に帰って来る事になりました。前年にビルメンテナンス業を起業していた父(8回 川妻卓二氏)から、後を継ぐ気持ちがあるのならこの1年のうちに決めて欲しいと言われて、いろいろ悩んだ末に広島に帰ることを決めたのです。帝人時代には、長沼電業の長沼博(33回)さんが、当時社長をされていた徳末智也(23回)さんを訪ねて来られ、その後に僕の所に寄られるという事が度々ありました。その長沼さんが、「お前、広島弁がしゃべれんで、広島で商売どうするんじゃ」と言われるんです。実は僕は広島で生まれたけれど、父の都合ですぐに大阪に行き東京を経て、小学校5年生で皆実町小学校に帰ってきました。附属中学を受験して運良く合格したので、アカシアの会員になる事ができたのです。そんな訳で小学校の同級生とはどうしてもつながりが薄く、附属中学での交流が一番でした。さらに、同期の二井谷彰君も「おい、川妻よ。広島で商売しようと思ったらね、まずアカシア会という同窓会があって、これが上から下まで全部集まるんだから、そこへ行っといたらすぐ顔が広がるから、来い。」と、こう言うんです。本当は当時、二井谷君が一番下っ端で、弁当の手配から何から全部やっていて、代わりになる人間を引きずり込みたかったというのが真相のようでした。帝人時代も東京アカシア会に出ていましたが、こうして広島に帰ると同時に、

地元のアカシア会でお世話になる事になりました。この時、6期下の松林孝昭(42回)君とペアを組んでお世話をしたのが、以後当番幹事制度として定着し、自立した持続可能な制度として今に続く事となっています。また、会報を担当した増田尚雄(43回)君は20年以上にわたり会報の印刷に係わってくれました。

当時のアカシア会幹部

●会長 村田可朗先輩(8回)

アカシア会会長は、中国電力副社長から中電工の社長に転じられた村田可朗さん。「べくろうさん」と慕われていました。

●幹事長 原幸夫先輩(17回)

源田三兄弟の事をご存知でしょうか。長男の源田実(広島1中)さんは真珠湾攻撃の航空参謀で、戦後参議院議員などを歴任されました。次男の源田松三(8回)さんは、大蔵官僚から戦後加計町長をされた方で、当時自治体では珍しかった労働争議に対して、一歩も引かず頑張りぬいて一躍有名になりました。三男の原幸夫さんは、白島の造り酒屋「原本店(蓬萊鶴)」に養子に入られた方ですが、通産官僚で広島通産局の局長を退任された時に、「もう広島を離れたくない」と、辞めて広島に残られました。この方が月例アカシア懇談会創設の中心人物であり、幹事長としてアカシア会の采配を振るっておられました。

●筆頭幹事 藤居平一先輩(24回)

初代日本被団協事務局長をされた藤居平一さんの事は、第4話にも書かれていましたが、常任幹事の中でも筆頭格で、原幹事長を非常に尊敬されていて、月例アカシア懇談会をはじめ、色々とアカシア会の活動に献身されていました。

その頃、同窓会の基本的な要件として、「名簿がしっかりしていること」「会合を持って顔を会わせること」「会費を取って財政基盤があること」これが会が存立する大事な三要素、ということを藤居さんが言って。僕もそれに賛成して、だんだん引きずり込まれていくという形になったんです。この三要素の他に、政治を持ち込まないという事もよく言われて、70周年の式典の時は、政治家は壇に上がらせないよう準備をしていたのですが、選挙の前だったのか皆登壇させると騒ぐもんだから、收拾がつかなくなって「まあ、しょうがないじゃろう。」と登壇させて、紹介するはめになってしまいました。

僕は藤居さんに反対意見も言ったりしたんだけど、なぜか可愛がられてましたね。家に呼ばれたり、電話が度々あったりしました。電話も長いし、訪ねていても長かったですね。

ロビイスト?

藤居先輩は、今で言うロビイストのような人で、交際の範囲も広く、自分では表に出ないのですが、でも力のある人でした。早稲田出身で、広島で稲門会をやるので、総長室に行って総長を引っ張り出したり、戸塚にあった校舎の移転にも関わったりされました。

アカシア会で最初に国会議員になった村上孝太郎(25回)さん(元大蔵次官、参議院議員、当選後数ヶ月で早逝)の選挙の時も、一生懸命駆け回っておられたんですが、どうも1年後輩の村上さんを通じて、原爆の国家賠償をやって貰い、広島を立て直す法案を作らせようという意図があったのではないかと思います。

日本を動かす3次官

藤居さんにまつわるアカシア会の逸話に、田中敬(32回)大蔵次官、井内慶次郎(32回)文部次官、栗屋敏信(35回)建設次官の3次官祝賀会の話(第1話)があります。この方達にも良くお会いしました。藤居さんに付いて行って同席した時、色々話をする中で、藤居さんが「あなたの方の中から、政治家になる者はないか」と。井内さんが断って田中さんも断った。それでどうとう栗屋さんになって。後輩だし、建設省という事もあり、当選する確率も高いと思いました。退官後、1983年(昭和58年)の総選挙で落選して貧乏くじを引いた格好でしたが、落選を糧に、1986年(昭和61年)の総選挙で初当選しました。

こんな経験ができたのも、単なる東京のサラリーマンでは無理で、アカシアだったればこそと感謝しています。

最近の母校に思う

先般、湯崎英彦知事(75回)が母校で生徒を前に講演するというので、学校や生徒がどんな反応をするか見に行きました。高校生への講演では、沢山の生徒が座席の小テーブルにうつ伏せになって、質問の時も活発じゃないし、あきれて帰ってしまいました。中学生は、もっとちゃんとしてたらしいけれど、先生方の中にも校歌を歌ってないように見える人がいて、僕らの頃と隔世の感があり、残念でした。

編集にあたって

昭和58年の総選挙の時、初めてお目にかかった川妻先輩は、凛とした立ち姿でアカシア有志の会を仕切っておられました。時を経て当時の先輩と同世代になりましたが、まだまだ学ぶ事が多いようです。今後も変わらず、後進をご指導頂きますよう、お願い申し上げます。

\*\*\*\*\*  
文責・編集：甲斐 稔(63回)  
編集：河本良子(63回)  
\*\*\*\*\*

アカシアライブラリー  
寄贈資料の紹介

(2009年12月～2010年5月)

(敬称略・受付順) 太字は寄贈者

資料のご提供、ありがとうございます。  
川西市・猪名川町原爆被害者の会編「被爆体験と記録 平和を願って」

(41) 山崎恭弘

冊子「軍国少年しゅんちゃんのプロシマ日記《復刻版》」 (41) 新井俊一郎  
冊子2008年高校Ⅱ年生編「2008修学旅

行 to Okinawa 小論文集」 母校  
プログラム「'73学校祭」、「'74学校祭」、  
「創立70周年記念音楽祭」、しおり「室積臨海学校昭和47年度」、「研修江田島  
のしおり(1975)」、広報紙「広大附中  
新聞(第56号・第57号)」など

(68) 白神聖也



プログラム 学校祭(1973、74年)と創立70周年記念音楽祭(1975年)

いろいろアカシア情報

アカシア41期会

①毎月第2水曜日 二水会

②第56回 新年互礼会  
平成23年1月2日(日)12:00～  
メルパルク広島にて。

このほか、来年の卒業60周年記念特別  
拡大総会に向けて準備中。

お問合せは、新井俊一郎まで

アカシア49 in TOKYO

10月24日(日)から26日(火)

お問合せは、山口邦明まで

アカシア53回 屋久島登山

10月の予定

お問合せは、樋渡敬宇まで

アカシア59回 還暦祝い同窓会

「銀河」ディナークルーズ

11月22日(月)18:30広島港～

予定会費：大人9,000円ほか

○詳しくは59回生ホームページで

<http://www.megaegg.ne.jp/~mharada/acacia59/>

66回 定例会

毎月第2金曜日 ゆるい例会(広島)

8月最終土曜日 東京で夏の集まり

お問合せは、鈴木俊哉まで

94回 2組同窓会

8月14日(土)18:00～

お問合せは 重本正樹

しげっちFCのホームページまで

<http://www.shigecchi-fc.com/wordpress/>

4月初旬に幹事のみなさまより同期会の  
予定をお知らせいただいたものです。  
詳細は各学年幹事にお問合せください。

◆水本和実(65回)論文集を出版

広島市立大学広島平和研究所教授の  
水本氏の「核は廃絶できるかー核拡散  
10年の動向と論調」(法律文化社・2,300  
円税別)が昨年12月に出版された。

アカシア会会員数(1～100回)

(2010年6月3日現在)(単位：人)

	人数	男性	女性
会員数	14,846	10,151	4,695
現存者	10,903	6,652	4,251
不明	1,116	799	317
物故者	2,827	2,700	127

計 報

(2010年2月号～6月号掲載)

元教官	藤井(高橋)千之助 様	平成22年 5月 5日
19回	村上満州男 様	平成13年 5月22日
20回	吉川 渉 様	平成21年 7月 7日
22回	帯賀 一男 様	平成22年 2月 7日
23回	長 亨 様	平成22年 2月 6日
24回	山内 一男 様	平成20年 3月30日
25回	桑門 圭一 様	平成22年 2月10日
	高橋 陸郎 様	平成21年 7月 9日
26回	廣川 義雄 様	平成22年 3月10日
29回	松永(山岡)勝 様	平成20年12月30日
31回	奥村 聰 様	平成22年 5月13日
	土井 忠雄 様	平成22年 5月 2日
32回	坪井 正 様	平成22年 5月 4日
33回	上原 弘基 様	平成20年12月19日
34回	赤松 清 様	平成21年11月12日
	佐久間元敬 様	平成22年 1月18日
	森山 高暉 様	平成21年12月11日
35回	小林 治男 様	平成21年10月 8日
	丹比 邦保 様	平成20年 1月24日
	中井 亨 様	平成21年 8月18日
	山口 能弘 様	平成22年 3月14日
37回	林 高生 様	平成22年 6月 5日
	福永 昭生 様	平成21年12月 7日
	福原 有光 様	平成22年 2月 1日
38回	長谷川公彦 様	平成20年 2月10日
	日野 健三 様	平成21年11月18日
39回	杉本 脩 様	平成19年11月28日
40回	大村 良行 様	平成22年 6月12日
	岡本 省吾 様	平成22年 5月18日
	増田 忠司 様	平成20年 5月30日

41回	打海 暎也 様	平成21年10月 9日
	木野 榮一 様	平成21年12月17日
	成田 哲 様	平成22年 3月24日
45回	上土 照雄 様	平成22年 1月24日
	玉井(寺地)歌子 様	平成22年 3月12日
46回	中村(北村)美佐子 様	平成22年 1月 7日
47回	寺岡 靖晃 様	平成22年 4月10日
48回	佐古 育司 様	平成21年12月 7日
	高重 清純 様	平成22年 2月 8日
	吉井 節男 様	平成20年 7月
51回	岩城(松本)巖 様	平成21年 1月 5日
	須藤 将 様	平成22年 2月12日
52回	松野(寺西)弘美 様	平成21年11月16日
56回	大西 円 様	平成21年11月23日
57回	田端 徹 様	平成22年 2月21日
58回	木村 史暁 様	平成21年 8月15日
59回	金子 吉成 様	平成22年 1月31日
	小林(正路)美江 様	平成22年 2月 1日
	竹村 和郎 様	平成22年 2月19日
	橋本 隆次 様	平成21年11月26日
61回	細井 真人 様	平成22年 1月26日
62回	溝部 裕司 様	平成22年 3月11日
65回	安達(山田)直枝 様	平成22年 5月23日
67回	松本 寛 様	平成21年12月19日
68回	松森(河本)明子 様	平成20年10月 8日

お詫びと訂正

6月会報第436号3頁計報に誤りがありました。

お詫びして訂正します。

誤：坪井 正様(48回卒)→正：(32回卒)

誤：土井忠夫様(31回卒)→正：土井忠雄様



神農料理と終盛古酒

ぬちぐすい

ADDRESS

〒111-0032

東京都台東区浅草1-20-5

Phone&Fax

03-5828-6788

78回

林(藤田)千夏

司法書士法人新綜合事務所

ARATA INTERNATIONAL, LLP

パートナー司法書士 松本 かずえ(78回)

(旧姓 若木)

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町24-8新南平台マンション303

TEL 03-5458-0480 FAX 03-5458-0488

HP : <http://arata-llp.jp/> E-mail : [matsumoto@aratasogo.jp](mailto:matsumoto@aratasogo.jp)

近森 翠(55回)さんからのご紹介



て来ました。電話事業一筋の32年間でありました。55歳で関連会社に移り、2003年にリタイヤしました。丁度そのころ、友人の誘いもあり月例会に出席するようになりました。附属高校時代の思い出としては、入学時のカルチャースョックだけが記憶として残っています。  
④ボランティア活動を熱心に行っており、尊敬すべき女性です。

①茶藤 健治(51回)

②広島市佐伯区

③1966年に電電公社に入社、大阪、名古屋、東京、金沢とグルッと一回りして、広島へ帰って来ました。電話事業一筋の32年間でありました。55歳で関連会社に移り、2003年にリタイヤしました。丁度そのころ、友人の誘いもあり月例会に出席するようになりました。附属高校時代の思い出としては、入学時のカルチャースョックだけが記憶として残っています。

自己紹介と、次号登場される方をご紹介いただくコーナーです。

出てもうってま  
ええかいのま

会員リレー紹介 ④

項目説明

- ① お名前と卒業回数
- ② お住まい
- ③ お仕事、自己紹介、母校の思い出
- ④ 次号登場の方との関係

谷本靖典(71回)さんからのご紹介



①谷本 聖貴(100回)  
②神戸市西区  
③慣れない一人暮らしに四苦八苦する日々を送りつつ、大学で心理学について勉強しています。在学中の思い出で印象深いのは、文化祭でしようか。附属の数あるイベントの中で、文化祭ほどクラスで団結するものはなかった様に思います。とはいっても、自分は準備期間からあまり参加できなかったのが残念です。それでも楽しく過ごせたのは友人達のおかげでしょう。  
④体育祭の応援団パートで厳しく指導して下さった、人望ある先輩です。

♡ビバ!アカシアカップル⑩♡



夫：西澤賢太郎(78回)  
妻：西澤欣子(78回)旧姓：原田  
2000年4月結婚(11年目)  
馴れ初め：卒業10年後の同窓会で再会したのがきっかけです。振り返るといつの間にか結婚後10年が過ぎており、今では3人の子育てに追われています。またあつという間に次の10年が過ぎてしまいそうな予感がします。  
アカシアカップルで思うこと：共通の友人やバックグラウンドがあることはお互いなんとな〜安心です。  
ご主人から一言：単身赴任中で育児など負担かけてますが、サッカーは続けたいというか続けさせてほしいです。  
奥様から一言：お互い走り続けてあつという間の10年だったので、これからは小走り程度にして家族5人の生活を楽しみたいです。

事務局だより

◆新事務局員あいさつ



月例アカシア会の下幹事として月2回アカシア会館に通う中、事務局のお話をいただき、4月から岩崎さんに代わって働かせていただくことになりました。まだわからないことばかりで、みなさまには大変ご迷惑をおかけしますが、少しずつ理解できるよう努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。 寺迫真理枝(77回)

附属中学・高等学校体育祭は、  
9月4日(土) 8:50〜。雨天順延。

◆2011年版会員名簿には医療、歯科医療、法律、税務・会計の4業種について試験的に業種別索引を加えます。皆様のお役に立てれば幸いです。ご予約については1頁をご覧ください。

住所変更手続きのお願い

アカシア会では名簿の作成に向けて転居された方の住所を確認しています。会報などはクロネコメール便で発送しており、郵便局の転居届では対応できません。転居の際はアカシア会HPの住所変更フォームや、FAX・はがき・電話を利用して、異動をごまめにお知らせください。メールアドレスもお知らせくださるとたいへん助かります。

会報月例版を購読しませんか?

〈会報月例版は年間購読料2,000円〉

7月と1月に会報全国版を全会員の方にお送りしておりますが、それ以外の月にも会報月例版を発行しています。会報月例版は月例アカシア懇談会の報告の他、会員からの情報をタイムリーに掲載、皆様の親睦に役立つ紙面作りを目指していますので、ぜひご購読ください。

〈お申込み方法〉

アカシア会にお電話かFAXでご連絡ください。折り返し振込用紙をお送りします。ホームページからお申し込みいただくこともできます。

創業12周年記念 (平成10年登録)

司法書士米原和彦事務所

広島司法書士会会員

司法書士 米原 和彦

79回(東京大学法学部卒業)

事務所 〒737-2301 広島県江田島市能美町中町3291番地12  
TEL(0823)45-3990 FAX(0823)45-5625

自宅 〒737-2301 広島県江田島市能美町中町4170番地7  
TEL(0823)45-2984

尊敬する人物(敬称略・順不同)

灘尾弘吉、栗屋敏信、湯崎英彦、沖井 純、平口 洋、松本大輔、寺田 稔、三谷光男、岸田文雄、菅川 洋、溝手顕正、亀井郁夫、柳田 稔、山口信夫、田中耕太郎、青山善充、菅野和夫、芝原邦爾、佐々木 毅、浜田純一、長谷部恭男、成川豊彦

好きなアーティスト

浜田省吾、島谷ひとみ、柴田 淳、倉木麻衣、伊藤由奈、TIA、上木彩矢、SCANDAL、宮本笑里

# 6月例会レポート

「新しい広島県づくり」  
広島県知事 湯崎英彦氏(75回)



最初に御礼ですが、知事に就任してからも、アカシアの絆の中で全国から温かいご声援を頂き、誠に有難うございます。さて、知事として7ヶ月が過ぎました。中長期的な視点に立って、県政として対応せねばならないこととして、人口減少の問題があります。現在はちょうど人口減少の入口にあります。広島県人口は現在280万人ですが25年後には230万人に減ると予測され、その減少分の50万人はほぼ今の福山市の人口に匹敵するものです。高度経済成長期には人口増が成長を押し上げましたが、逆の現象が今始まるようとしています。しかし、将来人口が減少し経済が縮小しかねない中でも、医療や道路や学校の整備等のインフラは固定的な費用としてかかってきます。くしくも菅新首相が「強い経済」「強い財政」「強い社会保障」を新体制でのマニフェストにしていますが、正にその通りで、中でも「強い経済」を作っていくことが大切です。社会保障も富の再配分にて実現できるものであり、「強い経済」による富の創造がまずなければ分配できません。ただし「富のために富を作る=お金儲けのため」ではなく、「何のために富を作るか」が大事あり、つまりは「雇用の安定があり自己実現が出来る安心で幸せな社会を作るために強い経済にて富を作る」ことが大事と言えます。では「強い経済を作るにはどうするか」ですが、それには「一人あたりの生産性や付加価値を上げる」ことです。では次に「どのようにして生産性を上げるか=富を上げるか」ですが、私は、観光という産業で所得(富)を作っていくための「海の道構想」をかかげています。この構想は、宮島や尾道単独ではなく瀬戸内海全体で力

を合わせて、諸外国を含めた観光客を瀬戸内海に誘致していこうというものです。加えて、「産業革新機構」を立上げ、環境関連企業等これから伸びていく企業に出資することで企業を成長させ、所得(富)を作っていくことを考えています。とは言え、これらは必ず上手くいくというものではなく、一定のリスクを内蔵しています。しかし、リスクをとって違うステージに上がらなければ、人口減によって今のステージは水没しかねないことから、新しいことをやっていく必要があります。私は選挙のときから「挑戦」という言葉を言ってきましたが、それは「リスクをとって違うステージに跳んでいこう!」という意味であり、「宝や力」は広島の持つ強みという意味で、「広島の強みをベース(踏み切り台)として新しい所へ跳んでいこう!」ということです。人口減となる10年15年先の世の中を担っていきけるような「いろいろ跳んでいけるもの」を、私の任期中に整えていければと思っています。それを実現していく上で大切なことは、跳び越えていくのは県民の皆さんであるということであり、私一人ではダメだし、県庁だけでもダメということです。私の役割は旗振り役ですが、県庁という組織を使って県庁が旗を振り、活動主体である県民や県内の企業、団体等が動いていくようにしなければいけません。それが真の「政治主導」だと思います。それには県民の皆さんとのコミュニケーションが大切です。まずは関心を持っていただき、そこから信頼関係を築くことで、大きな方向へ動いていきたいと思っています。人口減少に向けて、子供たちが20年後も『「広島に住んでいて良かった。働いていて良かった」と思われる広島』を作りたいと思います。6月17日記 三浦伸一郎(78回)



## 6月例会出席者(敬称略152名)

- (35)古川光彦、(39)木村淳邦、(40)田濱康夫、(41)新井俊一郎、菊地日朗、浜田逸郎、(43)後藤吟子、西山英明、(44)泉陽子、伊藤隆子、加藤義明、澤田佐喜子、田部勝、米山栄子、(45)桐原修二、佐古雅則、山崎義之、(46)大方幸三、岡田芳子、松尾康二、村上孝子、好富景子、(47)横山百合子、(48)中田研一、長谷川忠彦、(49)奥村誠哉、川瀬博之、倉本戴壽、土井田泰、原田瑠美、村上喜代子、(50)井藤壯太郎、小川玲子、加計瑛子、鈴木清、隅田正興、高野孝二、田中文雄、田辺宏子、辻育子、土屋照子、中井美恵子、難波紘二、原田玲、向井恒雄、吉中康磨、(51)上土康弘、寒川起佳、茶藤健治、鼻岡甫訓、山本健、(52)榎並毅、前川功一、(53)石田雅則、入江乙彦、大田淳、馬場則行、向井一誠、山手正、山根恵子、(55)近森翠、(57)大田順子、神鳥京子、木村栄子、清水さえ子、多幾山敏久、天島純子、安田敬子、(61)井上徳宣、(62)本田和哉、(63)小川秀子、甲斐稔、(65)中本泰弘、前原美徳、(66)木本芳弘、谷元百合、檜山桂子、三隅俊行、(67)高橋浩一、高橋裕子、(70)熊野留美子、古元邦子、部谷かおる、松原明子、(71)大原明子、河合利美、(72)天下貴子、岡崎尚子、小田義仁、河口千春、砂古伸二、佐々木克明、佐田和子、土谷正樹、中村好宏、西原ひろみ、檜井純江、古本小美、吉岡和生、(73)谷口公啓、(74)植本里佳、大田陽子、鈴木隆子、中高下哲、(75)井上祐司、梅岡俊、酒井康徳、杉山真一郎、杉山亮一、滝口修司、花岡奉憲、松下督克、三歩千晴、湯崎英彦、(76)佐久間由紀子、長尾光史、(77)村主公夫、寺迫真理枝、(78)上田紀恵、角本千鶴、方井周吾、菅野啓司、楠原千津恵、黒田陽子、清水満明、谷光尚代、寺田佳子、松石真紀子、三浦伸一郎、本山直世、山田智子、(79)青山和江、森川真吾、(81)菅彩路、(82)森直樹、(83)山中俊介、(84)加藤隆宏、三原雄介、八幡真紀、(85)大町一忠、栗栖史匡、(86)川上英里、濱野年啓、水野昌典、(87)中道加奈子、和田佳江、(93)佐渡哲洋、中村彩子、(95)小川優、(96)猪谷裕美子、倉信達臣、(99)江崎明莉

飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造課 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31  
TEL (082) 422-2121  
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸船町1-12-9  
TEL (03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社  
石井泰行(43)

この一杯は 豊饒の海  
君がいて 宇宙が歌って  
果てもなく 夢かりたてる  
喜びの歌 辛きその日も